

西公民館だより

令和元年度 第1号

令和元年8月

発行元：別海町西公民館

別海町西春別99-3

電話：0153-77-2250

FAX：0153-77-2407

子ども行事特集

5月～7月の活動報告

西公民館では、町西部地区の子どもたちを対象として、さまざまな行事を行っています。

今年も子どもまつりや人形劇、子ども体験塾を開催しており、今回は5月から7月まで行った行事について紹介します。

5月10日(金) 「すぎのこ人形劇」

毎年、町西部地区の幼稚園、保育園、小学1、2年生を対象に、ゴルデンウィーク明けに行われている「劇団すぎのこ」による人形劇が、今年も5月10日(金)に上演され、約200人が鑑賞しました。



人形劇の題目は「このつぎなあに」というお話で、たったひとりで山にすんでいるおじいさんの家に、ある晩、大入道が現れておじいさんを驚かせたが、大入道の正体は山のたぬきで… というあらすじです。手作りのおむすび目当てにやって来るたぬきとおじいさんのやりとりがほほえましくもホロリとする場面があり、いきいきとした演技も相まって、子どもたちの心にもジーンとくるものがあったのでは、と思います。

5月11日(土) 「子どもまつり」

今年で45回目を迎えた子どもまつりは、時折雨がちらつく曇り空でしたが、天気の悪さにも負けず多くの子どもたちが訪れました。



屋外では、乗馬コーナーでおそるおそる馬に乗っては楽しそうにしていたり、パトカー・消防車の展示コーナーで、パトカーや消防車に乗りたり、お巡りさんや消防士さんの服を着せてもらって大喜びの子どもたちの姿が見られました。



館内では、木のおもちゃ、乗り物、ストラックアウトのほか、地元の老人クラブである長命クラブのみなさんが用意したスロットボールといった様々な遊びのコーナーが催され、館内いっぱいに楽しそうな声が聞こえていました。また、今回はりょうしくんが登場し、子どもたちと楽しそうに触れ合っていました。



ロビーではたこやき、わたあめ、フランクフルトといった食べ物コーナーに長蛇の列ができ、あちこちで、できたてをおいしそうに食べている様子が見られました。

子どもたちにとって、楽しいひと時になったのではないでしょう?

子ども体験塾

子ども体験塾は、町西部地区（上西春別・西春別・上春別）の小学4年生から6年生までを対象に、キャンプ、バードウォッチング、スキーなど様々なプログラムを1年を通じ体験する事業で、今年は29名が入塾しました。

5月18日(土) 「入塾式」

第1回目となる入塾式は17名が出席し、オリエンテーションを行った後、緊張をほぐすためのゲームとして「ご注文はいりました」（5人ずつグループをつくり、5人が異なる食べ物の名前を一斉に言つて相手グループがいくつ聞き取れたかを競うゲーム）を行いました。簡単なゲームですが、同時に様々な食べ物の名前が飛び交うと、案外何を言っているのかわからなくなり、言っていない食べ物が聞こえてくる錯覚もあり、とても盛り上がりました。



次にドッジビー（やわらかいフリスビーを使ったドッジボール形式の競技）を行いました。塾生たちは日頃から遊んでいるせいか、積極的に攻める子、避けに徹する子、フリスビーを受け止めに向かっていく子と、各々慣れた様子で白熱しながら参加しており、途中からフリスビーを2つに増やすとさらに激しい攻防を繰り広げていました。

6月22日(土) 「べっこうあめ& スライムづくり」

第2回目は、べっこうあめとスライムづくり体験を行いました。べっこうあめづくりでは、上白糖を水と一緒にアルミに乗せてホットプレートで加熱し、砂糖水がきつね色に変わったタイミングで取り出して冷やしてからいただきました。上級編として、色の変化がわかりづらいざらめも用意し、挑戦した子は試行錯誤を繰り返しながらべっこうあめづくりに取り組んでいました。



次に行ったスライムづくりでは、あらかじめ用意しておいた材料を自分たちで混ぜ、スライムになるまでの変化を楽しみました。また、色付け用として黄色と緑の2色の食紅を用意したので、黄色のスライム、緑色のスライム、2色混ぜて鮮やかな黄緑色のスライム、あえてどちらも使わない透明なスライムなど思い思いに自分のスライムをつくって楽しんでいました。



7月7日(日) 「洋上セミナー」

第3回目は、羅臼町で開催された「北方領土青少年洋上セミナー」に参加しました。

まずは北方領土学習会ということで、島民2世の方による北方領土のお話のほか、根室高校北方領土研究会の出前講座や千島連盟による北方領土クイズが行われました。



昼食をはさみ、午後からは遊覧船に乗って洋上見学です。

天気のいい日には水平線上に国後島が見えるそうですが、当日は曇り空だったため残念ながら見ることはできませんでした。一方、多くの海鳥や数頭のイルカの群れを見ることができたので、塾生たちはとても大喜びでした。



しかし、後半はなかなか海獣も出てこなかったため、ガイドさんによる海の生き物紹介コーナーが行われました。